

ヘルパンギーナ

<どんな症状>

高熱と口内炎、のどの痛みが特徴です。のどの奥に小さな水ぶくれができて痛くて物が食べられなくなり、ひどい場合は水分も飲めなくなります。熱は2~3日つづくこともあります。最初に高熱がでたときにひきつける子どももいます。

2歳から4歳ぐらいの子どもに多い病気ですが、1歳前でもかかることがあります。ヘルパンギーナと診断されずに、口内炎とか扁桃腺炎と言われることもあります。1週間くらいでなおります。

<どんな病気>

初夏から夏にかけて流行る病気の原因は夏かぜのウイルスです。せきやくしゃみ、あるいは排泄された便から感染します。手足口病に次いで多い病気です。毎年かかる可能性があります。

<手当て>

最初に高熱がでたらお医者さんに行きましょう。特別に効く薬はなく、口の中の水ぶくれが破れて痛いので、ヨーグルトやくだもの、アイスクリームなどの口当たりのいいものを食べさせるようにしましょう。

